

薬剤師募集

Recruitment of Pharmacists

未来の自分を創造できる。～それがNHO～



国立病院機構の理念

私たち国立病院機構は
国民一人ひとりの健康と

我が国の医療の向上のためにたゆまぬ意識改革を行い、
健全な経営のもとに患者の目線に立って

懇切丁寧に医療を提供し、

質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます

CONTENTS

01



国立病院機構とは

02



病院薬剤師について

03



処遇・福利厚生

04



選考について

国立病院機構の概要

国立病院機構とは

医療サービスの向上、地域のニーズに合った医療の提供や、健全・効率的な病院運営の実現に向け取り組んでいる、厚生労働省管轄の独立行政法人。

6万人以上の職員で組織を運営

医師：約 6,000 人 看護師：約 42,000 人

その他：約 16,000 人 (令和 6年 4月 1日 時点)



01 国立病院機構とは 02 病院薬剤師について 03 処遇・福利厚生 04 選考について

日本最大の 病院ネットワーク

病院数：**140** 病院 病床数：**49,421** 床

(令和 5年 10月 1日 時点)



国立病院機構の運営方針

良質な医療を
効率的な運営で



臨床研究事業

140の病院からなるネットワークを構築し、幅広い臨床研究や多施設共同研究を実施するとともに、他の設置主体ではアプローチ困難な分野でも数多くの研究実績を有しています



01 国立病院機構とは 02 病院薬剤師について 03 処遇・福利厚生 04 選考について

診療事業

国民の健康を守るため、国を挙げて取り組まなければならない医療に対し、全国的なネットワークを活かした医療提供体制の充実を図っています



教育研修事業

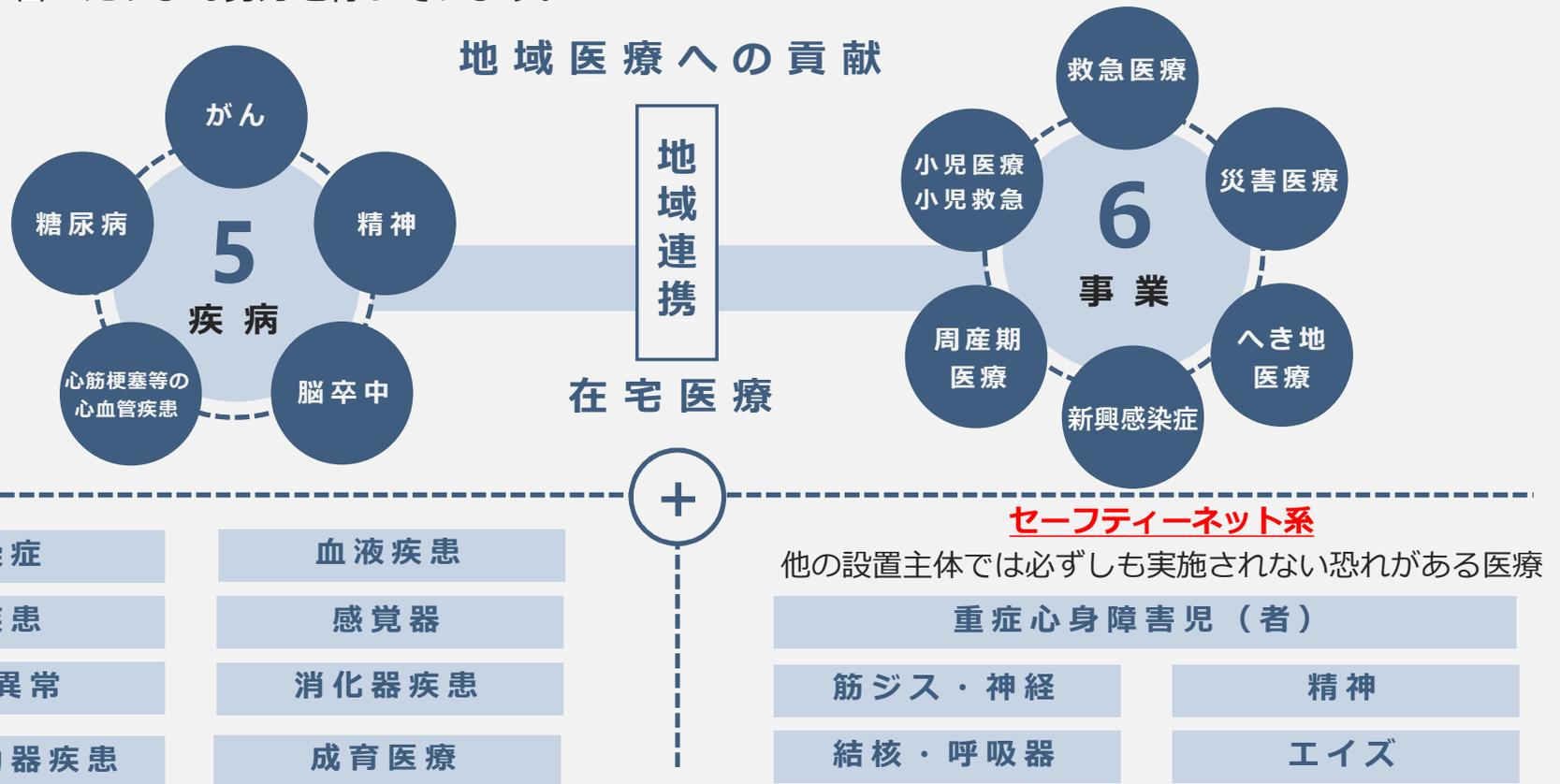
患者の目線に立った安全で良質な医療を提供できるよう、経験豊かな指導者と、幅広く豊富な症例を活かして次代を担う医療人を育成しています

国立病院機構が目指すもの



国立病院機構とは 病院薬剤師について 処遇・福利厚生 選考について

がん・循環器病などの高度先駆的医療、災害医療や国際的感染症への対応、重症心身障がい・神経筋疾患など民間での対応が困難な医療や国をあげて取り組まなければならない疾病に対して、医療を展開するとともに地域のニーズに応じた医療の提供に向け、日々たゆまぬ努力を行っています。



災害時等の薬剤師の活動



01 国立病院機構とは 02 病院薬剤師について 03 処遇・福利厚生 04 選考について



能登半島地震での医療活動

国立病院機構では、地震発生直後よりDMAT、DPATによる災害急性期の医療活動を展開するとともに、切れ目のない医療活動のために、令和6年1月5日から医療班を継続的に派遣し、被災地における診療を行いました。

災害医療

新興感染症対策

国立病院機構は国からの要請に基づき積極的に新型コロナウイルス感染症への対応を行っており、令和2年1月にダイヤモンドプリンセス号への医療従事者の派遣、全国に先駆けたワクチン接種への対応など薬剤師も積極的に支援活動に参加しました。



熊本地震での医療活動

平成28年4月に熊本で2度の大きな地震が発生し、全国からNHOの医療班やDMATが支援に駆けつけ、薬剤師も医療班の一員として支援活動を行いました。



全国140の病院ネットワーク



国立病院機構とは 病院薬剤師について 処遇・福利厚生 選考について

全国最大の病院グループ

国立病院機構は、全国に140病院のネットワークをもつ日本最大級の病院グループであり、全国を6つのグループに区分して運営しています。九州グループには九州8県に28病院があり、それぞれの地域で医療を提供しています。



国立病院機構は、東京の本部と全国6地域にグループ担当理事部門を設置し、各病院に業務支援を行っています。

九州グループ28病院

一般

17病院

障害

8病院

精神

3病院

01



02



03



04



国立病院機構とは 病院薬剤師について 処遇・福利厚生 選考について



福岡県



佐賀県



長崎県



鹿児島県

大分県



熊本県



宮崎県



沖縄県



人事交流について

(令和6年4月1日時点)



国立病院機構とは 病院薬剤師について 処遇・福利厚生 選考について

国立ハンセン病療養所

14名

入職後は、国立ハンセン病療養所を含めた33施設で人事異動がある



菊池恵楓園



星塚敬愛園



奄美和光園



沖縄愛楽園



宮古南静園

国立病院機構本部



中央治験審査委員会の事務局業務など

日本医療研究開発機構



引用元：日本医療研究開発機構
<https://www.amed.go.jp>

医薬品医療機器総合機構

2名



引用元：医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp>

厚生労働省

3名



薬事分野

医薬品等を安心して使用してもらうためのルール作り

保険医療分野

「診療報酬」や「薬価」を定める業務

研究開発分野

医薬品等の研究開発環境の整備

国立がん研究センター東病院

1名



がん専門の医療機関に勤務し、がん専門薬剤師の取得を目指す

引用元：国立がん研究センター東病院
<https://www.ncc.go.jp/ncc/about/index.html>

国立病院機構以外の病院や行政機関などで働くことで薬剤師としての知見がさらに広がる！

薬剤師の役割

国立病院機構の薬剤師は、

医師・看護師・その他の医療スタッフとともに

チーム医療の一員として、高度な医療を着実に支えるために、

調剤・製剤、服薬指導、薬歴管理、注射薬調剤、医薬品情報管理、

リスクマネジメント、医薬品供給・品質管理、薬物モニタリング、

臨床研究、治験等に専門的に取り組んでいます

CONTENTS

01



国立病院機構とは

02



病院薬剤師について

03



処遇・福利厚生

04



選考について

病院薬剤師の業務

01



02



03



04



国立病院機構とは 病院薬剤師について 処遇・福利厚生 選考について

調剤業務



製剤業務



注射業務



病棟業務



外来業務



総合的にスキルアップができ、薬の専門家として着実に成長できます

チーム医療



教育・研修



抗がん剤調製



周術期業務



治験業務



キャリアパスについて

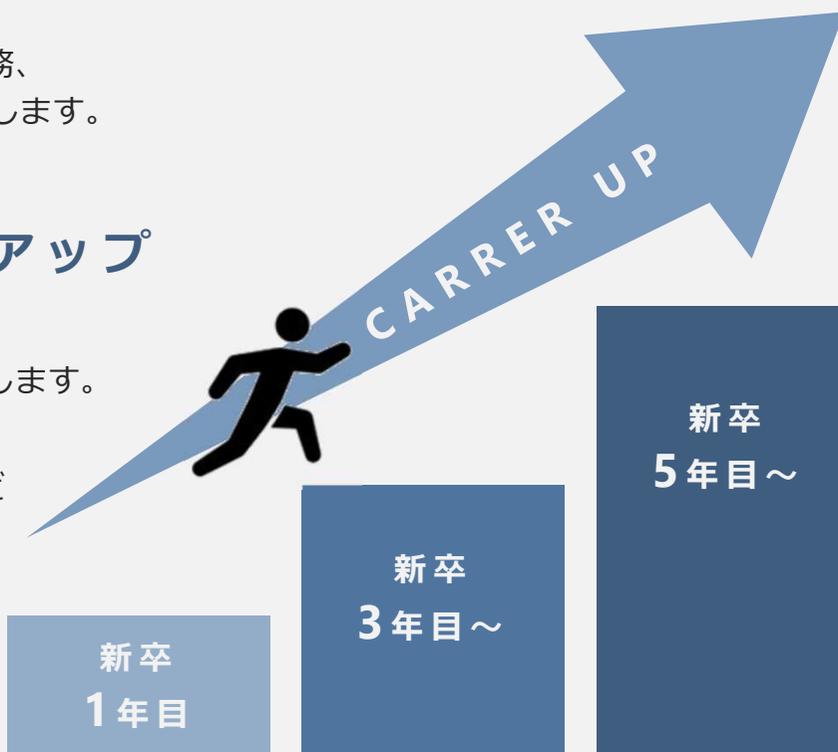
- ・ 充実した研修体制
- ・ 充実した学術研究の支援体制

□ 薬剤師業務の習得

- ・ 調剤業務、製剤業務、抗がん剤調製業務、DI業務など**薬剤部内業務の習得**を目指します。

□ 病棟業務のステップアップ

- ・ 病棟薬剤業務や薬剤管理指導を経験し、**ジェネラリスト**としての薬剤師を目指します。
- ・ 次のステップとして、興味のある専門領域を学び、ICT、NST、緩和治療など**スペシャリスト**を目指しチーム医療に参画します。



主任薬剤師へ

□ 学術研究

□ 認定・専門薬剤師取得

- ・ 学術研究を計画し、**学会発表や論文投稿**にチャレンジします。
- ・ がん、感染、精神など**専門薬剤師の資格取得**を目指します。

取得できる主な資格（令和6年）



認定組織	資格名称	習得者数
日本病院薬剤師会	感染制御専門薬剤師	4名
	感染制御認定薬剤師	9名
	精神科専門薬剤師	1名
	精神科薬物療法認定薬剤師	6名
	HIV感染専門薬剤師	1名
	HIV感染症薬物療法認定薬剤師	4名
日本医療薬学会	がん指導薬剤師	2名
	がん専門薬剤師	9名
	医療薬学指導薬剤師	12名
	医療薬学専門薬剤師	25名
日本臨床薬理学会	認定CRC	17名

専門・認定薬剤師を育成する環境

- 国立病院機構九州グループには、各領域の研修施設があります。
※左の表において、赤字で示されている資格は研修施設での研修が必須
- 日本医療薬学会が認定するがん専門薬剤師には、3,000円の手当が支給されます。

※ CRC：Clinical Research Coordinator、臨床研究コーディネーター

論文実績について



令和3年度

6報

九州医療センター（3報）
東佐賀病院
鹿児島医療センター
琉球病院

令和4年度

4報

小倉医療センター
九州医療センター（2報）
西別府病院

令和5年度

8報

九州がんセンター
九州医療センター（2報）
東佐賀病院
別府医療センター（3報）
都城医療センター

令和6年度

3報

九州医療センター
福岡東医療センター
長崎医療センター

九州地区国立病院薬剤師会多施設共同研究への助成

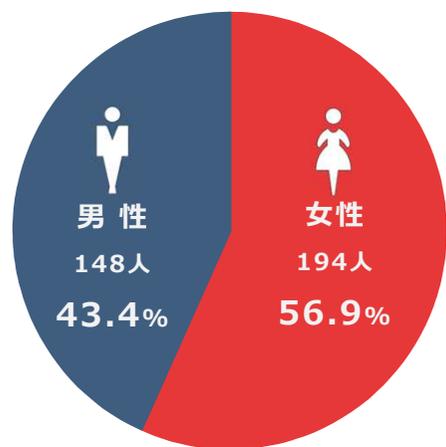
- 九州地区国立病院薬剤師会では、薬剤師の研究活動を支援するため、研究への助成を行っています。
- 国立ハンセン病療養所を含めた33施設を対象に、多施設のデータ収集、研究の支援を行っています。
- 平成25年度以降、7課題に対し研究への助成・支援を行っています（R6.8現在）。

薬剤師データ (R6.4.1現在)



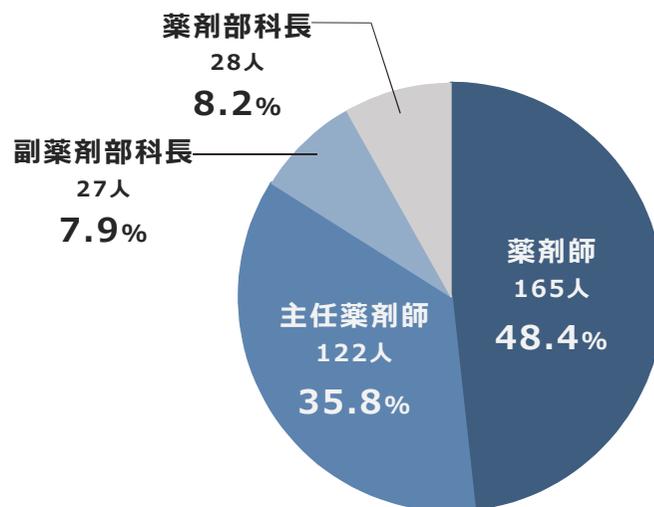
定数 353人 (配置342人)

男女比



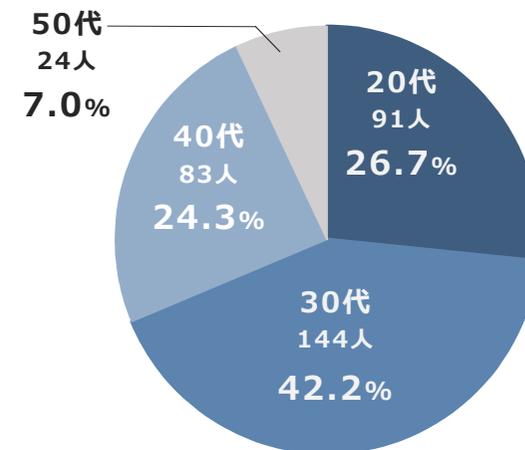
女性割合が増加傾向

役職等の割合



約半数が役職者

年齢別割合



平均年齢 36.0歳 (20~30代 68.9%)

NHOで働くメリット

国立病院機構は、

職員の皆さんに気持ちよく働いていただけるよう、

ワーク・ライフ・バランスを重視しており、

出産・子育て中も働きやすい環境です

育児支援にも力を入れており、

職員が働きやすい環境づくりを目指しています

CONTENTS

01



国立病院機構とは

02



病院薬剤師について

03



処遇・福利厚生

04



選考について

薬剤師の給与（モデルケース）

 大学6卒（新卒者）	▶	基本給 222,700円
		+
 賃貸マンション居住 ※家賃 60,000円	▶	住居手当 27,000円
		+
 自動車通勤 ※通勤距離 6km	▶	通勤手当 4,200円
		+
 月10時間の超過勤務	▶	超過勤務手当 16,800円

計 270,700円

※別途、賞与として基本給の年間4.2月分程度を支給

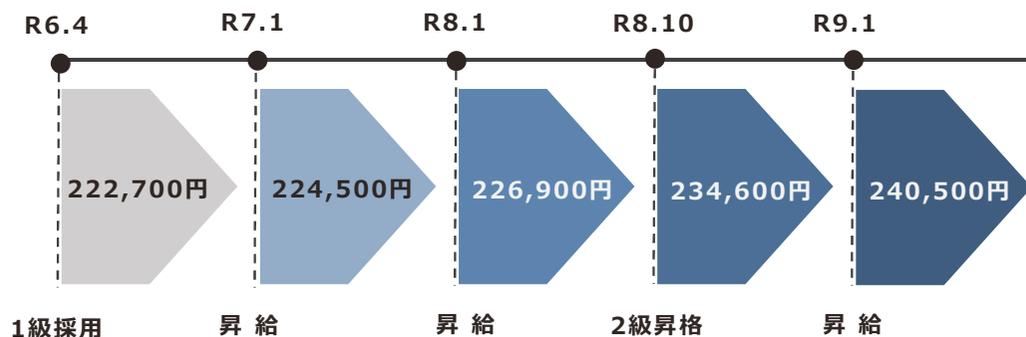
※住居手当：アパート、借家は27,000円/月を上限に支給

※通勤手当：交通機関利用の場合は55,000円/月を上限に支給



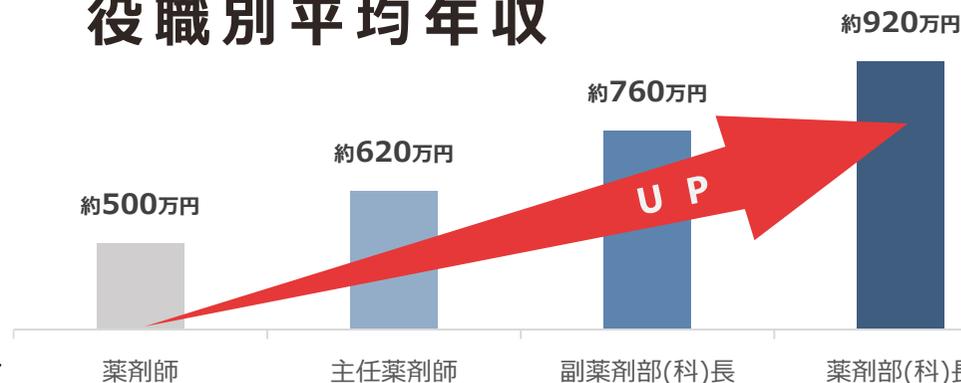
国立病院機構とは 病院薬剤師について 処遇・福利厚生 選考について

昇給例



※毎年1月に昇給 新卒の場合、3年目の10月に2級昇格
業績評価制度に基づく評価結果により、昇給号俸の変動あり

役職別平均年収



※保険料等控除前 17

ワーク・ライフ・バランス

給与・福利厚生等については、国家公務員に準拠した制度を定めています

休暇制度

- ・有給休暇：**毎年20日付与（繰越上限20日）**
- ・リフレッシュ休暇：3日付与
- ・病気休暇、結婚休暇、産前・産後休暇など
※年未年始（12/29～1/3）は休み

原則、4週8休（**週休2日制**）

原則、土日祝日は休み

※病院によって、夜勤・土日祝日の勤務があるが、代休を取得するため週休2日制

健康保険

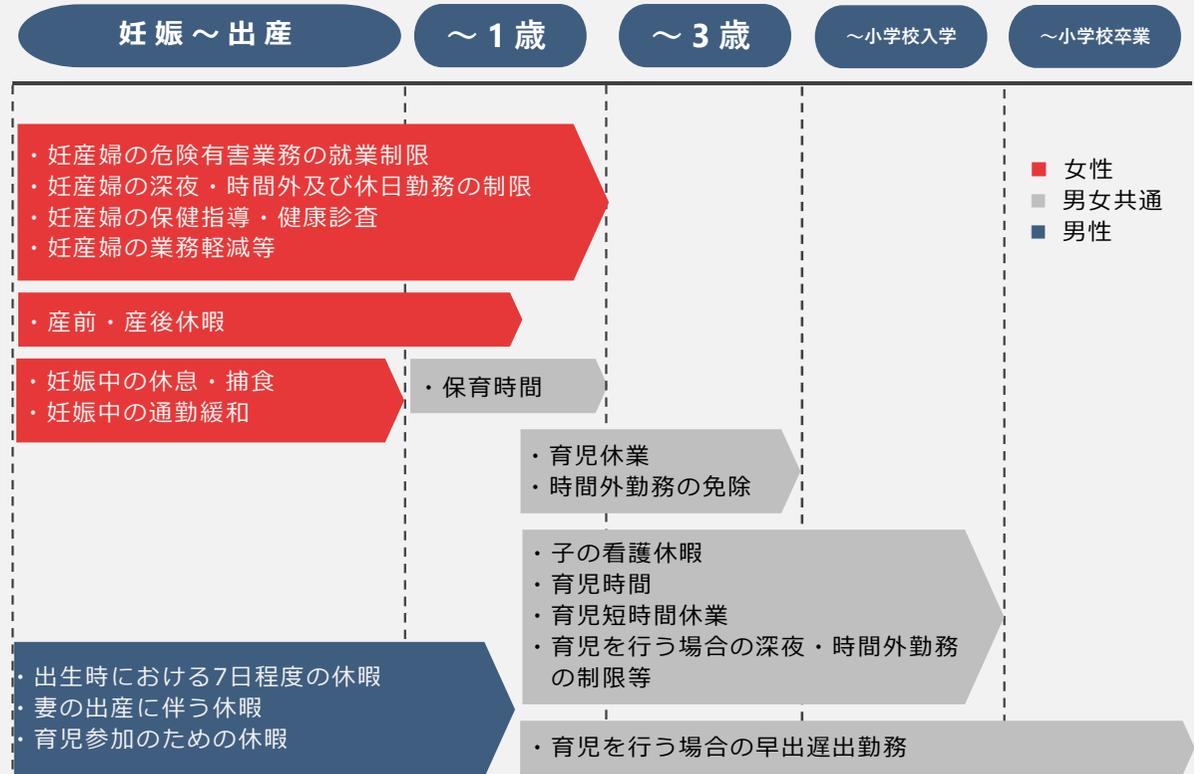
- ・厚生労働省**第二共済保険**に加入

赴任旅費

- ・採用・異動に伴う**移転費等を一部負担**



出産・子育てに関する制度の利用可能期間



人事異動に関するQ&A



NHOは国内最大のネットワークを有する病院グループで、様々な病院で勤務することで「**薬剤師としての大きな成長**」と「**広い人脈**」を得ることができます。

異動は**3～5年を目安**に行われ、毎年「**職員カード**」を提出して自らの希望施設を申し出ます。

Q1 異動のメリットはありましたか？

- ・異動により心機一転、職場を辞めることなく新たな環境で仕事を行える。
- ・人が入れ替わることで、薬剤師としての仕事の質や知識の向上が期待できる。
- ・急性期や慢性期など病院によって様々な業務・診療科を体験できる。
- ・異動により新しい出会いがあり、薬剤師以外のスタッフとの人脈も広がる。

Q3 異動して困ったことはありましたか？

- ・病院によってシステムなどが異なるため、慣れるのに時間がかかった。
- ・子どもの保育園への送迎などでフルタイム勤務が困難になった。

Q2 異動して生活に変化はありましたか？

- ・異動に伴い単身赴任になった。
- ・異動に伴い家族で引っ越したため、家族の生活環境が変わった。
- ・結婚を機に希望施設へ異動となり、ライフステージに合わせた異動を考慮してもらえた。

Q4 困った際どのように解決されましたか？

- ・上司・先輩・同僚などに相談し、アドバイスを受けた。
- ・NHOのネットワークを活用し、他施設の状況などを参考にした。
- ・「育児時間」や「育児短時間休業」などの制度を活用して仕事と育児を両立することができた。

求められる薬剤師像

日進月歩する医療の中で、薬剤師がチームの一員として、
患者さん中心の医療に参画することが求められ、

期待されています

その期待に応えるため、業務の拡大・展開に積極的に対応できるように
準備を進めているところであり、

国立病院機構においては、熱意のある優秀な人材を求めています

CONTENTS

01



国立病院機構とは

02



病院薬剤師について

03



処遇・福利厚生

04

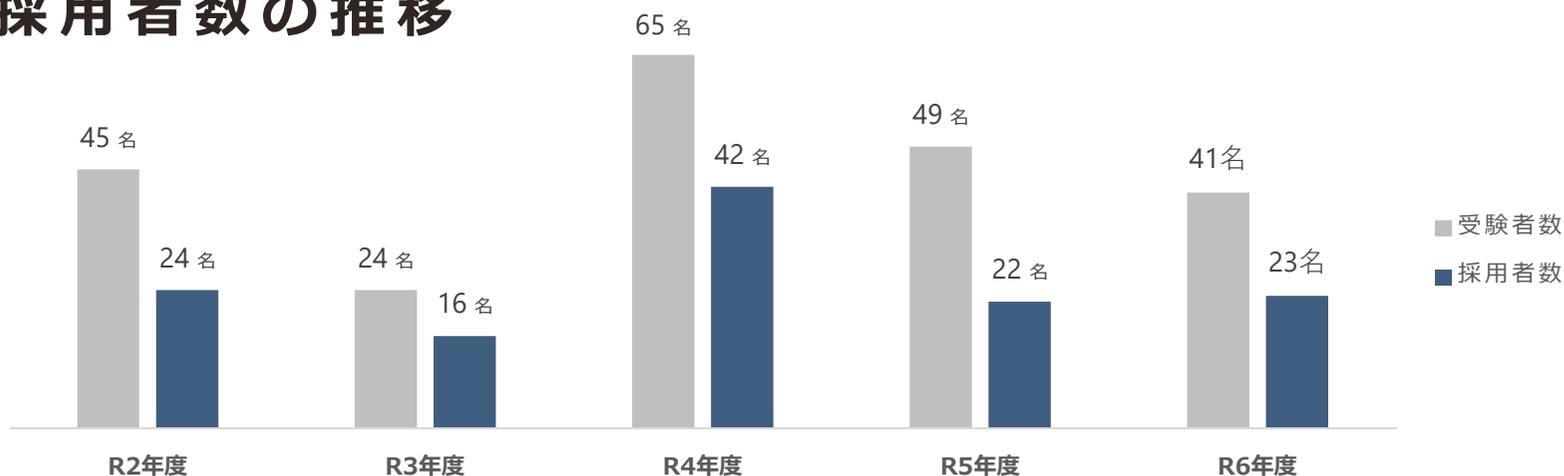


選考について

採用データ



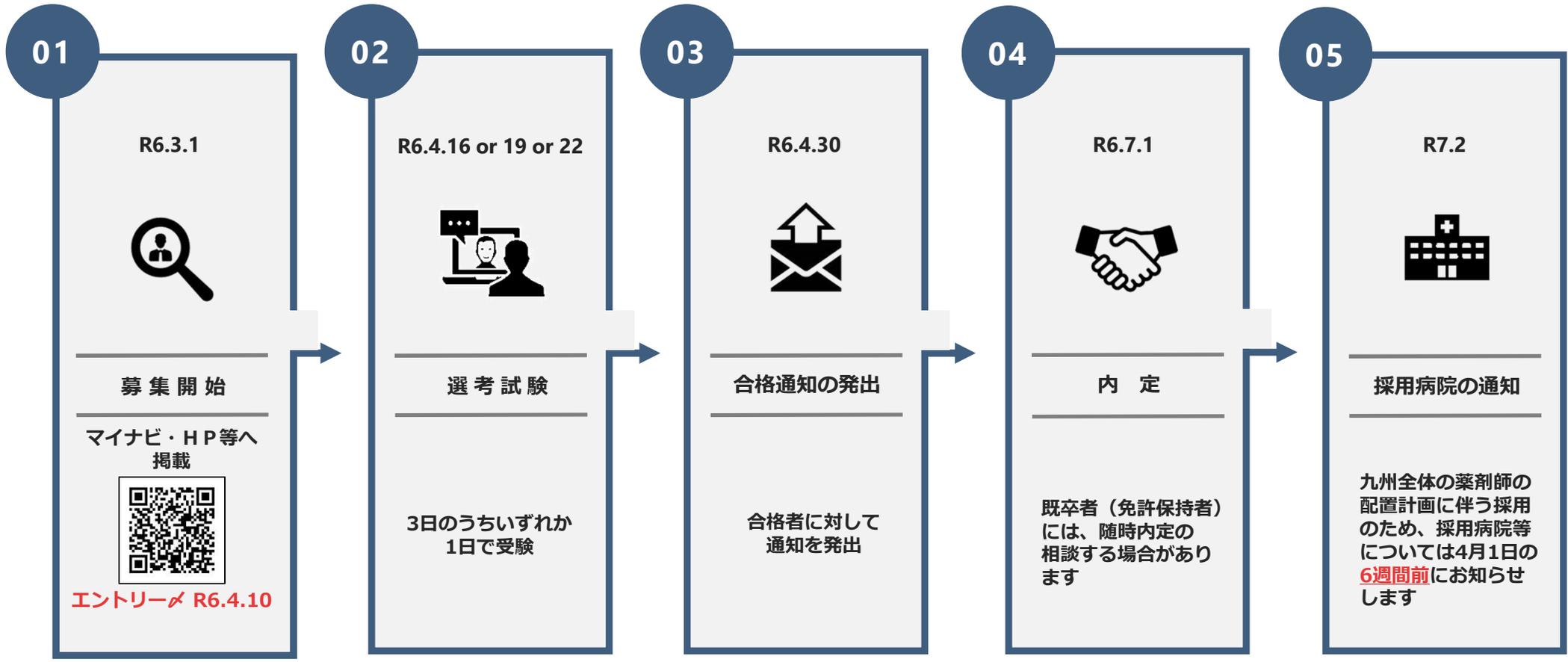
採用者数の推移



過去5年間の採用実績校（50音順）

いわき明星大学、大阪薬科大学、岡山大学、北里大学、岐阜薬科大学、九州大学、九州保健福祉大学、京都薬科大学、近畿大学、熊本大学、神戸学院大学、国際医療福祉大学、静岡県立大学、就実大学、昭和薬科大学、摂南大学、崇城大学、第一薬科大学、帝京大学、東京薬科大学、同志社女子大学、徳島文理大学、長崎大学、長崎国際大学、新潟薬科大学、日本大学、広島大学、広島国際大学、福岡大学、福山大学、北陸大学、松山大学、明治薬科大学、武庫川女子大学、安田女子大学、横浜薬科大学、山口東京理科大学、立命館大学

<参考> 採用までの流れ (R7.4.1採用)



2024年度薬剤師病院見学会スケジュール

2024年度薬剤師病院見学会スケジュール

都道府県	病院名	4月	5月					6月	8月					9月	10月	11月					12月			1月	2月					3月	開催回数							
		11 (木)	9 (木)	10 (金)	14 (火)	15 (水)	16 (木)	17 (金)	24 (金)	21 (金)	6 (火)	7 (水)	8 (木)	9 (金)	14 (水)	15 (木)	16 (金)	27 (金)	25 (金)	7 (木)	8 (金)	12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)	12 (木)	19 (木)	20 (金)	24 (金)	6 (木)		12 (水)	13 (木)	14 (金)	18 (火)	19 (水)	21 (金)	11 (火)
福岡県	小倉医療センター					○						○											○															4
	九州がんセンター							○	○									○	○								○	○										6
	九州医療センター												○							○																	3	
	福岡病院								○															○														3
	大牟田病院					○						○											○															3
	福岡東医療センター				○						○											○																4
佐賀県	佐賀病院			○								○									○																3	
	肥前精神医療センター				○								○																								2	
	東佐賀病院			○									○								○																3	
	埴野医療センター					○						○										○															4	
長崎県	長崎病院					○						○											○														3	
	長崎医療センター					○						○											○					○									4	
	長崎川棚医療センター					○						○											○					○									4	
熊本県	熊本医療センター																								○	○											3	
	熊本南病院					○						○											○														3	
	菊池病院							○																○													3	
	熊本再春医療センター				○							○																									3	
大分県	大分医療センター				○						○											○															3	
	別府医療センター											○												○													2	
	西別府病院																								○												2	
宮崎県	宮崎東病院					○				○													○														3	
	都城医療センター											○																									3	
	宮崎病院		○									○																									3	
鹿児島県	鹿児島医療センター										○																										3	
	指宿医療センター			○																																	3	
	南九州病院				○								○																								3	
沖縄県	沖縄病院	○																																			3	
	琉球病院							○																○													2	

参考資料（先輩薬剤師のキャリアアップ）

※写真はイメージです



01 ママさん薬剤師 編



第二子が一歳の時、時短勤務で職場復帰。

第一子が一歳三か月の時、時短勤務で職場復帰。
第二子出産。産休・育休取得。

結婚を機に宮崎へ転勤。
第一子出産。産休・育休取得。

外科を担当。
調剤主任。先輩薬剤師の指導のもと論文投稿。
夜間オンコール体制。携帯をサイレントにしたまま爆睡して迷惑をかける。

整形外科や血液内科を担当。
救急病院の処方の多さに困惑。効率よかつ確実に捌くことの重要さを知る。夜勤業務あり。

呼吸器や乳腺外科を担当。
多職種でのカンファレンスや回診、抄読会や学会発表、海外の学会聴講を経験。調剤薬局との違いに戸惑いながらも医師や先輩薬剤師の指導のもと充実した毎日を過ごす。

処方変更の理由や血液検査の結果が見えないことにモヤモヤ。病院への転職を決意。国立病院機構を選んだ理由：「国立」ってなんかかっこいい。

01

妊娠中に利用した制度

- ・妊産婦の危険有害業務の就業制限
→抗がん剤調製、粉碎調剤の免除
- ・妊産婦保険指導・健康診査
→妊婦検診時に取得
- ・妊娠中の休息、補食
→つわりの症状があるとき
- ・産前休暇
→出産予定日の6週間前から取得

02

産後に利用した制度

- ・産後休暇
→出産日の翌日から8週間取得
- ・育児休業
→育児休業給付金の給付あり
(原則1歳まで)

03

復帰後に利用した制度

- ・育児短時間休業
→1人目の時10:30~16:00の週5日勤務(24時間35分)
2人目の時10:00~16:30の週4日勤務(24時間)
- ・特別休暇
→子供が発熱したときに取得

最後に

- ・女性は特に結婚、妊娠、出産、育児などその時々でライフスタイルの変化が大きいと思いますが、その都度、自分に合った働き方(都会の大きな病院から地方のアットホームな病院、フルタイム勤務から時短勤務など)ができるのも国立病院機構の魅力だと思います。
- ・また個人的ですが夫は全国転勤のある仕事なのですが、国立病院機構であれば全国に病院があり九州以外への異動も考慮してもらえるので助かります。

02 指導薬剤師取得者 編

九州医療センター（1～7年目）

1年目～ 薬剤師業務全般

3年目～

血液内科の抗がん剤治療に興味
抗がん剤調製業務に特化
血液内科医師との連携

①白血病、移植前処置のレジメン登録

②医師側からの臨床上の疑問→学会、論文投稿

電子カルテへの切り替え（レジメンシステムの担当）
同僚薬剤師と連携して学会発表、論文投稿

実臨床における抗がん剤の有害事象に関する論文が意外と少ない。
大規模な研究はできなくても、自施設での症例を集めれば論文化できるものもある。

指導薬剤師取得への
第一歩

7年目～

腫瘍内科との連携→英語論文投稿

①外来化学療法室への常駐

②腎細胞がんの内服抗がん剤の診察前面談の運用立ち上げ

★ 2010年 学位（博士号）取得 ★ 血液内科医師からの大説教
★ 医療薬学専門薬剤師 認定

小倉医療センター（8～11年目）

8年目～

調剤主任として赴任

マニュアル整備

病棟薬剤業務実施（呼吸器科、眼科）

医薬品マスタ管理

電子カルテへの切り替え（注射、レジメンシステム担当）

同僚薬剤師と連携して学会発表、論文投稿

★ 趣味の開拓：クライミング ★ 医療薬学指導薬剤師 認定
課題/自分との向き合い ★ 結婚
医療職以外とのコミュニケーション

福岡東医療センター（12～15年目）

12年目～

副薬剤部長として赴任

電子カルテ更新（薬剤部門担当）

業務改善：簡易懸濁の導入、マニュアル整備
（超過勤務縮減、薬剤管理指導件数の増加）

働き方改革

14年目～

増員要求への対応

（2020年度に1名増員、2021年度に4名増員）

診療報酬関連の対応

薬剤部長の退職-新薬剤部長赴任への繋ぎ

管理者になると（論文にならない）問題だらけ！

【大切と感じるもの】

- ・薬学的知識
- ・他の職種との連携
- ・問題解決にむけた思考力
- ・データ解析、編集能力

指導薬剤師取得の最中に
少なからず経験したこと

★ 医療安全管理責任者 ★ エクセルの勉強 ★ 趣味の継続
★ 子育て ★ 在宅での趣味：歴史学

振り返って感じること

実臨床における薬剤使用経験に関するデータをまとめ、臨床に還元することの重要性を知り、指導薬剤師を目指すきっかけとなった。

指導薬剤師取得の最中で経験、取得した薬学的知識、他職種連携、問題解決能力、データ編集力は、管理職には必須なスキルであると感じています。

1施設目（20代）のうちに、多くの先輩（薬剤師、医師、看護師）と出会い臨床上で困っていることや疑問点に関してディスカッションできたことが、今の自分を形成する原点になっていると感じております。

03 治験薬剤師 編

NHO中途採用まで

- ・薬学部の講義で、治験に興味を持っていました。
- ・院生時代、所属していた研究室の先生が文部科学省関連の研究開発事業に採択されたことをきっかけに研究を自分で進めるだけでなく多方面から支援する仕事があることを知りました。科学技術振興機構（JST）という機関に就職し、研究支援職（事務系の仕事）を3年経験しました。

しかし、やはり専門に戻りたい、現場で働きたい！という思いが強くなり

- ・中小病院に転職し、主に調剤業務を2年経験しました。

調剤業務にも慣れてきて、学生時代に興味を持った治験業務を経験してみたい！という思いから、国立病院機構（NHO）を受験し、中途採用され、治験や臨床研究を専門的に支援する臨床研究コーディネーター(CRC)として働くことになりました。

NHO 2施設目：九州医療センター（9年間）

治験主任として赴任

- ★ CRC関連の各種学会発表・参加、研修の講師経験
- ★ 日本臨床薬理学会CRC海外研修参加
- ★ JSCTR認定GCPパスポート・がん臨床研究専門職取得

- ・忙しくも活気のある環境で、CRC14名と事務4名をまとめる役割を担いました。
- ・循環器科、脳血管内科、血液内科、外科（消化器、肝臓）などの様々な診療科の治験・臨床試験を経験しました。グローバル治験や救急治験、診療科横断的な治験など難しい治験は、CRCがハブとなり患者さんを中心に院内外の関係者と協力することで初めて実施が可能になります。多くの人に関わるチームとして一つの目的のもとに仕事することは大変さも伴いますが、大きな達成感と遣り甲斐をもたらしてくれます。関わった新薬や新しい治療法が認められ、実用化された時の喜びは、CRCならではの醍醐味です。
- ・治験や臨床研究の実施について審査する治験・倫理審査委員会の運営は、治験主任の重要な業務の一つです。CRC（実施側）と委員会事務局（審査側）の経験を踏まえ、病院で実施される治験や臨床研究がルールに基づいた上でいかに適正かつ効率的に行えるかを考えて業務を行っています。事務局として関わった倫理審査委員会・臨床研究審査委員会は質の高い倫理審査を行っている証として、国から認定を受けることができました。

NHO 1施設目：福岡病院（3年間）

CRC薬剤師として赴任

- ★ CRC関連の各種研修・学会参加
- ★ 呼吸器関連の国際学会参加
- ★ 日本臨床薬理学会認定CRCの取得

- ・CRC看護師1名と事務1名の計3名のアットホームな環境で仕事しました。
- ・成人と小児の呼吸器疾患に特化した病院で、呼吸器科（喘息・COPD・鳥インフルエンザワクチン）、小児科（喘息・四種混合ワクチン）の治験を経験しました。
- ・NHOは、全国140病院のネットワークを活かし治験・臨床研究を推進しており、その取り組みの一つとして、CRCの育成に努めています。本部主催の治験・臨床研究コーディネーター初任者研修を始め各種研修が充実しており、それらに参加することで知識と実地の両面で基本からCRC業務を学ぶことができました。

最後に

CRCは薬剤師さんの進む道の一つであると思います。NHOは治験や臨床研究を積極的に推進しているため、薬剤師もしくはCRCとして活躍の機会も多くあります。

NHOの薬剤師として治験や臨床研究と一緒にかかわってみませんか？

日本臨床薬理学会のCRC海外研修



04 人事交流経験者（厚生労働省ほか）編

九州医療センター（1～3年目）

- 1年目～ 薬剤業務全般を経験
先輩薬剤師の学会発表・論文投稿の補助
- 2年目～ 抗がん剤調製業務・製剤業務に特化
学会発表
- 3年目～ 病棟薬剤業務に特化

指宿医療センター（4・5年目）

- 4年目～ 製剤主任として赴任
小規模施設であり、薬剤業務全般に従事
倫理審査委員会事務局業務

行政機関 出向（6～11年目）

- 6年目～ 厚生労働省医薬生活衛生局医薬品審査管理課化学物質安全対策室
化学物質安全対策部会・化学物質調査会事務局業務
（カウンターパート（経済産業省、環境省）との調整業務）
（部会資料作成、会議室確保、開催案内、官報告示・通知資料作成）
法改正業務
- 9年目～ 厚生労働省医薬生活衛生局医薬品審査管理課
薬事・食品衛生審議会医薬品第一部会・第二部会事務局業務
（部会資料作成、会議室確保、開催案内、官報告示・通知資料作成）
医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議事務局業務
（部会資料作成、会議室確保、開催案内、官報告示・通知資料作成）
法改正業務
- 11年目～ 関東信越厚生局医療課
保険医療機関等（主に保険薬局）の指導・監査業務
特定機能病院及び臨床研究中核病院に対する立入検査業務

福岡東医療センター（12年目～）

- 12年目～ 薬務主任として赴任
医薬品情報担当業務
業務改善：薬剤師から調剤助手へのタスクシフト
（マニュアル整備、業務効率化）
病棟薬剤業務導入
医薬品マスタ管理

★ NST専門療法士取得

振り返って感じること

1年目から幅広い薬剤師業務を経験できる環境であり、2・3年目以降は興味のある業務に従事できる環境であった。
また、先輩の学会発表・論文投稿の補助を通して、問題意識をもって業務を行い、問題点に対して、実臨床のデータをまとめ、臨床へ還元していくことの重要性を知った。

また、5年間の行政機関への出向経験により、薬事関連の制度に関する知識習得に加え、国会・議員対応及び関係団体等との調整業務を経験することで、様々な業務を確実に、効率的に進めていく力を身に付けることができた。
行政への出向経験を活かして、法律・通知等に基づいた薬剤業務、相手に伝わりやすい資料の作成、医師・看護師等との業務調整等を実施することができている。

なにより、複数施設への異動や行政機関出向を通じて、国立病院機構ならではの経験、人の繋がりを構築できたことが今の私の一番の財産になっていると感じている。